

第7号

“みんな育てる みんなのまち”

アダプトだより

(平成22年3月1日号)

特集1 岐阜駅北口駅前広場が整備されました

特集2 広がっています アダプトの輪
ニューエントリー 大特集



岐阜駅北口駅前広場が整備されました

◇岐阜駅北口駅前広場整備事業

中心市街地の岐阜駅周辺では、平成10年度にJR高架事業が完成し、市街地の南北分断という問題点が解決されました。しかし、岐阜駅北口駅前広場では、交通結節点としての乗り継ぎの不便さやにぎわいの創出、駅周辺を含めた新たなまちづくりが懸案として残されており、その解消のため、岐阜駅北口駅前広場の整備が期待されていました。

そこで、平成14年11月に都市計画決定、平成15年1月に岐阜駅北口土地区画整理事業の事業認可を受け、7年間の期間を費やし、昨年9月26日に完成しました。

駅と街がつながり、交通結節点機能が強化され、県都の玄関口である岐阜駅北口駅前広場が生まれ変わりました。

多様なコンセプトにより整備された駅前広場は、にぎわいの発信基地として、駅周辺、そして中心市街地へと人の流れをつくりだす一大交流拠点となっています。

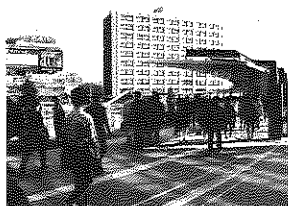
また、デザインに岐阜らしさを取り入れた各施設は、県都の玄関口としてふさわしい都市景観を形成し、市の新たな顔が誕生しました。



整備後の岐阜駅北口駅前広場（平成21年9月撮影）
（東側上空から駅前広場を望む）

（1）駅周辺の回遊性向上

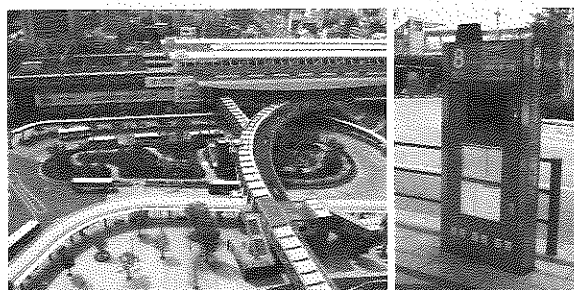
駅利用者の安全性と利便性向上を図るため、2階レベルで駅と周辺街区を連絡する歩行者用デッキ（L=612m）を整備しています。これにより市中心部へ人の流れを誘導するとともに、岐阜駅周辺における回遊性を向上させ、にぎわいを増幅します。



駅と街を結ぶ歩行者用デッキ

（2）交通結節点機能の強化

面積26,500㎡と全国有数の規模を誇る駅前広場に、バス乗降場、一般車乗降場、タクシー乗降場などの交通施設を機能的に配置し、利便性・快適性の向上を図りました。特に、バス乗降場においては、市内すべてのバス路線を乗入れることにより、鉄道とバス・バスとバスの乗り継ぎが大変便利になりました。また、バス乗降場には、バスロケーションシステムを導入しており、バス交通の拠点機能が完成したことにより、岐阜駅の利用者が整備前より約3,500人/日増えるなど、公共交通機関利用促進に大きく貢献しました。



バスロケーションシステムを導入したバス乗降場（15バス）

（3）にぎわい空間の創出

『信長ゆめ広場』

駅前広場の中央にステージや音響設備を備え、イベント等に活用できる多目的な広場を整備しました。この広場北側には、市民の寄附により黄金の信長公像が建立され、駅前の新たなシンボルとして「信長のまち岐阜」を大きくアピールしています。

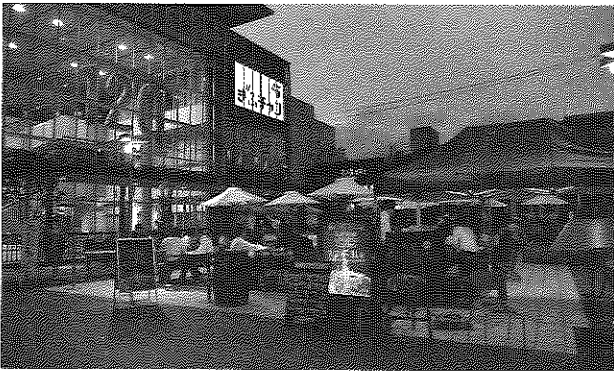


黄金の信長公像

イベントで活用される『信長ゆめ広場』

『スクエア43』

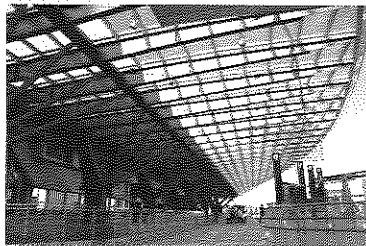
駅前広場西側には、平成19年10月、「岐阜シティ・タワー43」のグランドオープンに合わせて、広さ約1,000㎡の駅西広場デッキが完成しました。この広場は、再開発事業により今後増加する都心居住のライフスタイルを向上する施設になるとともに、オープンカフェ等のイベントの場、広く市民の皆様へ憩い・やすらぎを提供する場として活用していただいています。



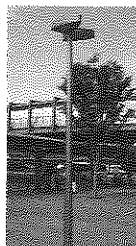
オープンカフェ等で活用される『スクエア43』

(4) 岐阜らしさをデザインで表現

駅前広場の施設は、岐阜の自然や歴史、伝統文化をデザインに取り入れ、訪れる人たちに岐阜を感じていただくよう整備しました。岐阜駅を一步踏み出すと、岐阜和傘をイメージした大屋根が訪れる人たちを温かく迎え、また岐阜蝶をモチーフとした照明灯が夜の広場を照らすなど、岐阜を随所に感じさせてくれる広場となっています。



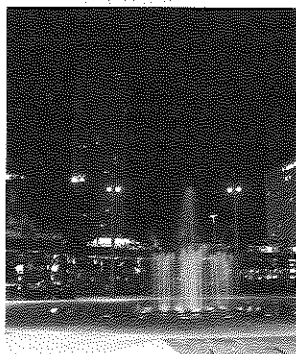
岐阜和傘をイメージした大屋根



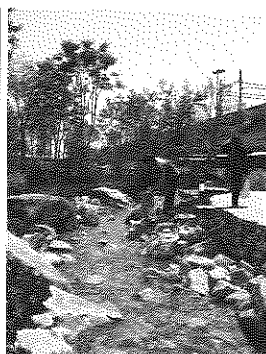
照明灯

(5) 環境機能の強化

「杜の駅」のコンセプトのもと、バス乗降場の中央部にある『やすらぎの里』を中心に広場内には、金華山の木々や県内に自生する樹種を植栽し、また駅前広場の既存木を再利用するなど、緑豊かで環境に配慮した整備を行いました。また、照明には効率の良いLED・メタルハライドランプ照明を使用し、「信長ゆめ広場の噴水」や「やすらぎの里の流れ」には井戸水を循環させるなど、ヒートアイランド対策、低炭素社会の実現を図っています。



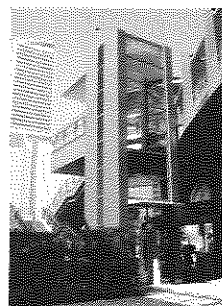
信長ゆめ広場の噴水



やすらぎの里の流れ

(6) 安全・安心の駅前広場

駅前広場を計画する段階から、すべての人たちが安全で快適に利用できるよう障がい者団体などと意見交換会を行うとともに、歩行者用デッキが一部完成した整備途中段階においても、バリアフリーフォローアップ調査を行うなど、ユニバーサルデザインに配慮したエレベータ、エスカレータ、音声案内誘導システムを取り入れた情報案内板などを設置しました。また、広場内を喫煙禁止区域とするなど、誰もが安全で安心して利用できる駅前広場となっています。



エレベータ



情報案内板

(7) 適正な一元管理

駅前広場の完成に合わせ、岐阜駅構内に岐阜駅前広場交流センターを開設しました。このセンターでは、広場の占用・イベント等の使用の受付業務や維持管理業務を行うとともに、情報コーナーとしての展示ブースやイベントの会議や控え室のスペースとして利用することができ、広場での交流発信基地となっています。



岐阜駅前広場交流センター

お問い合わせ：

岐阜市 都市建設部 駅周辺事業推進課

☎ 265-4141

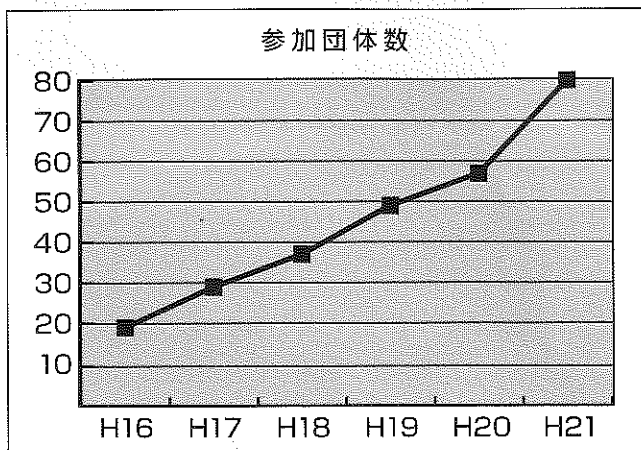
特集2 ニューエントリー大特集！！

平成16年から始まった岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”は6年が経過しました。平成21年10月には当初より参加していた団体15団体のうち13団体が、自発的にまちづくりに取り組む市民・団体を表彰しその功績をたたえる市民参画賞を受賞されました。(残り2団体は以前に受賞されています)

開始当初より、参加団体は順調に増加してまいりましたが、今年度(平成21年度)は例年の2倍近い参加団体がありました。

(グラフ参照(H21のみ2月末現在))

これも、日頃の参加団体皆さんの、「自分たちが暮らす身近な地域(公共空間)を大切に守っていきこう」、「美しくしようとする活動」が、他の市民の目に止まり「自分たちも活動してるから参加しよう」、「自分たちの住む街もきれいにしよう」と活動の輪がひろがっているからです。まさにアダプト・プログラムの目的のひとつである



・ごみのないきれいな街には、ポイ捨てが少ない

が市内にひろがっています。

特集1で紹介した、昨年9月に整備されたJR岐阜駅北口駅前広場にも、近隣の企業などがアダプト・プログラムとして参加し、岐阜市の玄関口を美しく保って岐阜を訪れる人に、岐阜は美しいまちと喜んでもらえるようにと活動をされています。

それでは、“ぎふまち育て隊”に新しく加わった内の21の団体をご紹介します。

「岡田産業(株)」

当社は昨年の12月から「ぎふまち育て隊」の活動に参加しました。

第1回目は雪が降り、道路清掃活動ができずに雪かき作業になってしまいました。

2回目は、朝8時から地域の道路清掃をおこないました。

見た目にはあまりゴミが無いと思っていましたが、清掃活動を終わる頃にはゴミ袋4杯分がありビックリしました。この活動で社員の融和もはかれ、楽しい清掃活動になりました。



「玉宮かいわい町人会」

JR岐阜駅前から柳ヶ瀬までの中心市街地で街中の「らくがき」が多く非常に困っていました。

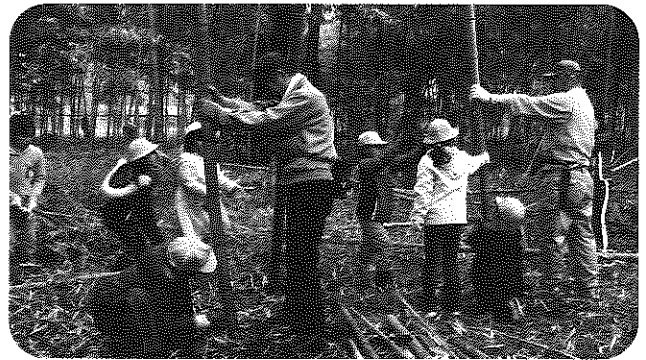
わたしたちは「落書きけっし隊」を結成し市民の力で「クリーンアップ大作戦」と銘打ち、3年間かけて、街中の落書きをすべてなくしました。このとき玉宮エリアを中心に集った人は地域や職業の枠を越えて組織した市民の団体でした。その後、現在の

名称に変更しました。地域には人と人との間にとかく見えない川が流れがちですが、メンタル的なバリアフリー、心の障壁を取り除く開かれた関係作りを目指しています。ソフトとハードをつなぐ人の生き方と街の育み方をつなぐ、やわらかに人の心をつなぎ「民発民設民営」のあたらしいまちづくりを目指しています。



「竹林整備ボランティア 風と土の会」

平成8年岐阜市主催のボランティアリーダー研修会に参加した18名のメンバーが、長良川右岸の河川敷の荒廃した竹藪を何とか公園にしようと、ボランティア風と土の会を立ち上げました。このとき岐阜市の協力で園内に散歩道をつけてもらい、間伐除草作業が楽にできるようになり、活動が本格化しました。

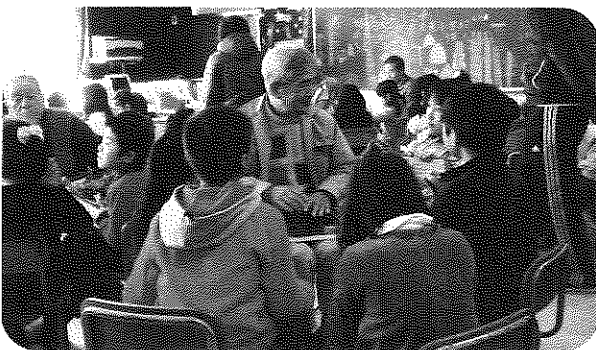


会のモットーは **！！できる事を、できる時に、できる分だけおこなう！！**

会員が精神的にも、肉体的にも負担を感じないマイペースで参加できる方針のもとで、14年掛けて竹藪を竹林に整備して岐阜市の公園らしくしてまいりました。

この竹林は温暖化防止の森林保護、市民の憩いの場所、市内の小中学校、親子自然体験等環境教育のエリアとして活用されています。間伐した竹は竹炭に、また焼却灰は草木灰として市民に無償配布したり、竹細工の出前授業や各種イベントにおいて有効活用し、循環型社会の構築実験も目的にしています。

年2回のイベント竹の子祭(6月)竹林祭(11月)を通じ環境保全の必要性のPRも行っています。保



全活動の成果は美観以外に姫螢の大量発生、会員49名(平均年齢71歳)がよい自然環境の中で活動しながら仲間同士との会話がはずむことにより、体調や精神面が豊かになっています。

残る竹藪を竹の子に負けないよう完全に整備し、兩岸の堤防道路から見てきれいだと賞賛されるようがんばります。

「南塚自治会」

柳津町南塚自治会は岐阜市の南端に位置し、田畑が残るのどかな町です。現在公園3ヶ所、花壇2ヶ所があり環境に恵まれたところです。

平成17年に羽島用水土地改良事業により花壇が整備され、その管理を含めアダプト・プログラムに参加しました。活動を開始してまだ1年余ですが、春・秋の花の苗の植え付けの時には参加者も多く、5ヶ所ある公共施設を始め地域を美しく潤いのある環境とするために、自治会を中心として環境美化活動に取り組んでいます。

「天理教 岐阜支部」

9年ほど前より毎月第1日曜日に長良公園で天理教岐阜支部の青年部が実施しています。地域に密着した奉仕活動を家族ぐるみで参加することを目的として活動をおこなっております。主に公園内の清掃、トイレの清掃を行い、毎回10~20名の参加があります。7月は強化月として100名近くの参加があります。

せっかく活動するなら市と協働しようと平成21年4月よりアダプト・プログラムに参加しました。



「伊自良川ラグビー場を整備する会」

練習拠点が尻毛橋下手・伊自良川河川敷にある「岐阜ラグビースクール」は創設40周年を迎え、会員100名余の児童生徒がいます。

雑草だらけだった河川敷が20年の月日を経て、ようやく“らしく”なってきました。これまで、広大なグラウンドの丈の長い草刈は、スクール関係者には手に負えず、いつも岐阜市のお世話になってきました。こうした中、徐々に指導者や保護者会の人たちによって、自発的に芝種を蒔いたり砂を撒いたりなど環境整備が進められてきましたが、このほど中古の自走芝刈り機を購入したのを機に、スクール内部に「伊自良川ラグビー場を整備する会」を結成しアダプト・プログラムに参加しました。

毎週週末には、子どもたちがボールを持って追いかけてこしたり、高学年の子は組織的にパスをもらおうとサポートに走りこむ、そんな姿を頼もしく眺めながら活動しています。



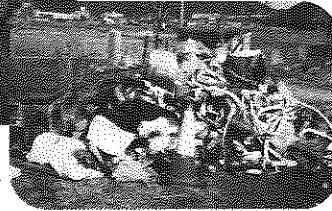
「高田境川環境清掃ネットワーク」

平成21年4月に高田地区を流れる境川を昔のように蛍が飛び交うようにしたり、桜を育てて楽しく桜祭をするために、兩岸の草刈を行うことを目的として「高田境川環境清掃ネットワーク」を構成員10名でスタートしました。

「岐阜市青年OB会 長森南支部」



平成7年に何か地域で出来る出来ないかと思い新荒田川上流部をきれいにしようと活動をはじめ、現在まで15年、休むことなく活動を続けています。平成13年に県の地域県民協働型県政推進事業として事業を行いました。また、平成18年に行われた岐阜市青年団OB会結成60周年にも参加しました。



平成22年2月にも45名の会員で川底のごみさらいを行いました。

「(株)丸泰」

我社は地域に貢献したいと考え、「丸泰クリーンクラブ」として年3回を目処に定期的に会社周辺の清掃をしています。

会社周辺には田畑・住宅・店舗があるため社員全員で広範囲に渡り清掃活動を行い、また地域の方々に顔を覚えていただくために挨拶運動も平行して行っています。

毎回ごみがたくさん集まり、やりがいを感じつつも驚いています。

今後も地域のために、継続的に会社周辺の清掃活動を行いたいと考えています。



「大洞自治会」

私たちが環境美化活動を始めたのは大洞村～大洞区～大洞自治会と代々と続くなかで、いつから始まったかわからないほど昔から活動を行ってきました。活動は毎年8・9・3月と年3回、自治会全戸数78戸で行っています。

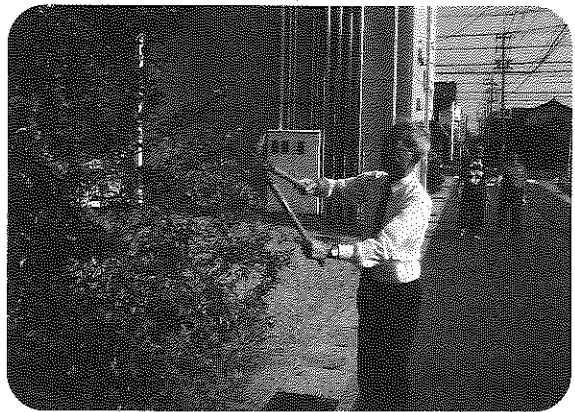
自治会公民館の清掃から、公園・河川・道路などの雑草刈り、ポイ捨てゴミや空き缶拾い・山から突き出た木々の伐採まで地域の公共の場所をきれいにするため全員頑張っています。

「(株)カンチ」(鹿島町)

当社は、アスファルト舗装工事に使う『アスファルト混合物』という材料を作っています。岐阜市と美濃市にアスファルトプラントを保有しており、2001年にISO 14001も取得しました。また本社事務所では保険代理店を営んでおり、保険を通じてエコ活動に取り組んでいます。

毎月、第一土曜日を社内清掃の日とし、それにあわせて周辺のゴミ拾いも行っています。

昨年、広報ぎふにてアダプト・プログラム制度を知り参加させていただくことになりました。



「(株)カンチ」(河渡)

当社は、アスファルト舗装工事に使う『アスファルト混合物』という材料を作っています。場内を往来するダンプなどの車両は多い時には、何百台にもなり、数年前に工場の整備にあわせ粉塵の除去、抑制のため道路清掃車、散水車を購入しました。それ以来、場内に限らず周辺道路の清掃、散水に使用し、夏場の暑い時機の散水は、近くを通る人には多少なりとも涼しさを感じられたと思います。

また周辺のゴミ拾いもそれ以前から行っています。当社は、長良川右岸堤防道路下にあり、堤防の清掃も活動に入れていきます。困ったことにゴミを捨てた後からまた捨てる人がいて、他の清掃活動をされている団体さんも苦勞されていると思います。

平成21年に広報ぎふにてアダプト・プログラム制度を知り、本社も含めて参加させていただくことになりました。ゴミを捨てる人に腹を立てつつも、職員皆で活動をもり上げていくつもりです。



「(株)十六銀行」

当行は「ぎふまち育て隊」に参加し、JR岐阜駅北口駅前広場の清掃活動を行っています。駅前広場が完成して第1回目の清掃活動には約20名が参加し、清掃活動を行いました。駅前広場は人通りが多いわりにはきれいになっており、集まったゴミはわずかでしたが、こうした小さなゴミをまめに拾うことが、ポイ捨て防止につながると思います。

県都の玄関口をいつまでもきれいな状態に保つため、また地域美化のために清掃活動を続けたいと考えています。

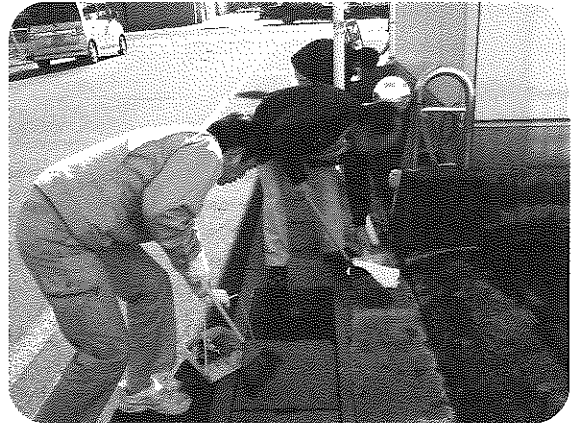


「山一電気(株)」

社員の「会社の周りをきれいにしたい」という声から不定期での清掃活動が始まり、昨年8月、アダプト・プログラムに参画しました。

現在は月1度、本社のある坂井町2丁目の清掃活動を行っています。

活動を始めてまだ日は浅いですが、地域のため、これから続けていきたいと思っています。



「大東(株)」

我社は岐阜市六条に位置し、社員61名にて活動しています。本社を神田町から六条へ移転して20年がたち、何か地域の役に立てることはないか、という社員の提案により平成21年にアダプト・プログラムに参加させていただくことになりました。活動場所は付近にある「六条中公園」「空下公園」およびその周辺道路で、月に1度土曜日の早朝より清掃しています。

近くにある公園ながら、日頃その施設や木々を見ることなどは殆んどありませんでしたが、活動を行うことによって、改めて施設の充実さ、木々の美しさを拝見することが出来ました。

開始してまだ半年たらずですが、今後も地域の方々とのコミュニケーションを図りながら活動を続けてまいりたいと思います。



「(株)富国建設」



私どもの会社は金宝町通りに面しており、交通量が多く、人の流れも比較的多い地域です。車を止めてタバコの吸い殻を植え込みに捨てて行ったり、通行中に空き缶やゴミをポイ捨てする事例が多く見られます。

また、通り全体が銀杏並木のため秋は落葉が多く、毎日の清掃が欠かせません。そのため、平成21年10月より社員10名で月1回のペースで地域の清掃活動を行うことになりました。今後、この活動が地域全体に広がっていく事を願っています。

「岐阜伊奈波ライオンズクラブ」

我々はアダプト・プログラムとしてJ R岐阜駅北口駅前広場の清掃活動に参加していますが、それ以外に岐阜伊奈波ライオンズクラブ結成30周年記念として2005年より毎年「長良川クリーンウォーク」をボーイスカウト・少林寺拳法の子どもたちと活動を行っています。

「長良川クリーンウォーク」はNPO法人長良川環境レンジャー協会の協力を得て清掃奉仕を行っています。

「岐阜市建築技術協会」

当協会は、市内に本店を有する建築業者にて構成する団体で、昭和59年10月に設立されました。設立目的は建築工事の安全管理及び施行技術の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することとしております。

建設産業は、市民生活と経済活動の基盤になることから、協会会員は業界の社会性を認識し、激しい社会環境の変化に対応しながら、建築物の安全性確保や技術の向上に求められる研修活動、及び関連する事業展開を行い、日々、研鑽活動に努めるものです。

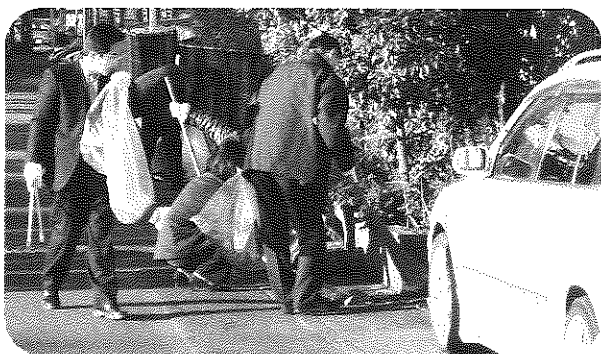
一方、社会を構成する一員としても特性を活かした活動が必要であり、岐阜市と防災協定を締結するなど、有事における体制の整備にも努力しております。

また、今回のアダプト・プログラムへの参画もこうした社会参加の延長と位置付け、市の玄関口を対象に昨年より実施してまいりました。活動は、協会員の意識高揚にも繋がり、プログラムの実践は意義深いものになっております。

まちを愛し、まちを育てる当協会の本義は、こうした活動と連動するものと考えており、今後とも継続に努力してまいりたいと考えております。



「(株)岐阜銀行」



当行は、平成20年9月より地域貢献活動の一環として、毎月第2火曜日に100名程の職員ボランティアで本店周辺のクリーン活動を実施しています。

平成21年10月に、岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”の制度を知り、当行のクリーン活動がマッチするため参加しました。今後も地域の美化・清掃活動を続けてまいります。

「ユニオンテック(株)」

ユニオンテック(株)では会社営業日の毎日、地域社会に貢献するという目的で社員全員で会社の周辺の道路やバス停、近所の荒田川の河川敷等を清掃しています。

社員も地域の住民の方々もみんなで使うものですから、常に清潔であれば皆がいつも気持ちが良いですし、地域の方々の笑顔が増え気持ち良く生活できるのではないのでしょうか。

また、清掃中には「おはようございます」「ありがとうございます」等、声をかけてくださる人もいらっしゃいますし、地域の方々とのコミュニケーションの輪が広がり、地域社会の発展つながり、さらには会社の発展につながるのではないかと考え清掃活動しています。

「竹文化振興協会 岐阜支部」



昭和59年10月「竹の良さを見直し、育て、活用する」ことを目的に設立しました、その目的の一環として平成7年4月から長良雄総の竹林整備を行っており今年で15年になりますが、今回アダプト・プログラムを知り参加することにしました。

現在、会員は130名ほどいます。整備活動は竹林広場5.7ヘクタールの内約1ヘクタールを行っており、毎月第2日曜日の午前中に40名程度集まって整備

活動に汗を流しています。

間伐した竹材は毎月第2土曜日に開催している竹細工同好会で竹細工の材料として利用したり、その他色々活用していますが、余った間伐竹は焼却して竹林に戻しています。

現在、地球温暖化防止のため、色々な政策が提案され、実施されていますが、整備された竹林の竹の二酸化炭素吸収力は他の植物に比較して非常に高いといわれています。

私達は環境保全だけではなく、地球温暖化防止にも貢献していることに誇りを持ちながら、美しい竹林を作るために頑張っています。



第13回 竹の生活文化展ご案内

春がすぐそこまできています。身体を思いきり伸ばしたいものです。竹を見直し育て活用しようという運動を続けて26年、竹の生活文化展も今年で13回目になります。そこで今年は「竹・復活」をテーマに文化展を開催します。春のひととき、ぜひご来展下さいますようご案内申し上げます。

竹文化振興協会岐阜支部

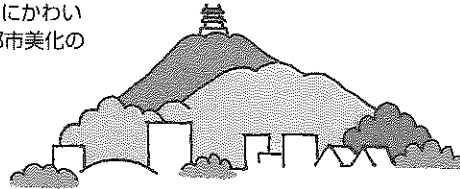
テーマ 「竹・復活」
 会期 2010年3月12日(金)～17日(水)
 AM10:00～PM4:30
 但し最終日17日は午後2時まで：入場無料
 会場 中部電力岐阜ビル 1階
 バレットルーム
 岐阜市美江寺町2-5

岐阜版 アダプト・プログラム

“ぎふまち育て隊” やっています。

あなたも
参加してみませんか

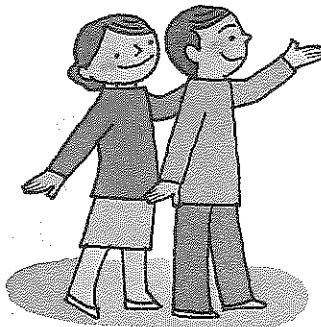
●アダプト・プログラムとは、市民が道路・河川などの公共の場所を、わが子のようにかわいがり面倒をみる(清掃活動など)、都市美化のしくみです。



都市美化の対象

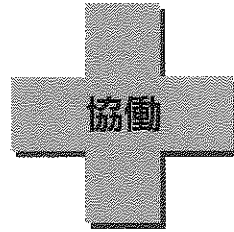
公共の場所(駅前、繁華街、道路、公園、河川など)

アダプト(=adopt)には、英語で「養子縁組みをする」などの意味があります。

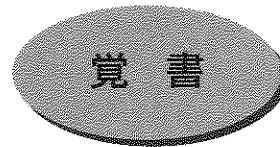


市民・地域企業など

市民の役割
・清掃・美化活動



合意



岐阜市と活動団体が締結



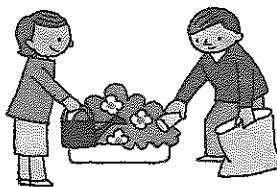
岐阜市

岐阜市の役割
・傷害保険への加入
・アダプト・サインボードの設置
活動団体の名前などを明記したアダプト・サインボードを設置することで、活動団体には自覚とやりがいを、市民には都市美化の啓発となります。



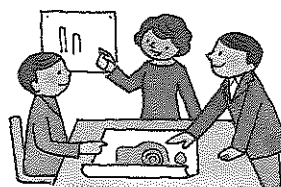
アダプト・プログラムの4パターン

一般型アダプト・プログラム



〔例〕定期的に道路や河川などの清掃活動をしている場合。毎日、街路樹と花壇に水やりし、周辺の道路を清掃している場合。

創造型アダプト・プログラム



〔例〕市と協働で、公園などを企画し、完成後、美化や管理などの活動を行う場合。

文化財型アダプト・プログラム



〔例〕民間敷地内の町のシンボルを、地域住民で清掃している場合。所有者等と活動団体の間で、まず覚書を結びます。

環境保全型アダプト・プログラム



〔例〕環境保全を念頭に置いた、美化・整備活動を行う場合